

# 岩手県職労

月2回刊=1528号  
2019年3月15日 発行  
発行日 毎月15日30日  
発行所 盛岡市内丸九番1号  
岩手県庁内  
岩手県職労労働組合  
印刷所 盛岡市上田二丁目17-4  
有限会社 ジョー印刷企画  
一部 40円  
組合員購読料は組合費に含む

**総合共済準組「甲」協力費改定へ**  
昨年6月の定期大会で規約が改正され、本年4月から準組合員・出向者への県職労総合共済の協力費(月額100円)が

参院選比例代表予定候補者  
**「憲法理念」活かした政治を!**  
**吉田ただとも**  
(社民党公認)

## 春闘方針を確立!

賃金改善  
超過勤務改善  
欠員解消

=現給保障の賃金水準確保・赴任旅費改善が喫緊の課題=

### 勤務意欲が維持できる

### 賃金・職場改善に全力を

3月2日、県職連合第25回・県職労第121回臨時大会が開催され、確定闘争の到達点をもとに、「給与制度総合的見直し等の賃金引き下げからの賃金回復の実現」、「諸手当改善」、「人員確保」、「超勤手当の全額支給」、「赴任旅費改善」などを柱とした19春闘方針に関し、補強発言を受けて確立。継続課題の改善に向けて意思統一をはかった。

開会に当たり、小野中央執行委員長は「3月で給与制度の総合的見直しの現給保障が終了し、300人を超える職員が賃下げに陥る。度重なる賃金のマイナス面をどう取り戻すかが春闘の重要課題。今年の確定闘争で評協議会の独自要求闘争で少しずつ改善を引き出した。職場の実態にこだわった要求・交渉の継続を春闘期から積み上げよう。また、組織拡大も待ったなしの課題。組織拡大に向けて組合員が意識して新採用の加入拡大に全力を挙げるこ

とが重要だ。政治闘争では8月盛岡市議選に組織内・野中靖志さんの擁立を提案する。参議院選・統一自治体選に勝利するため全力を挙げよう。春闘期に一步前に入る運動の構築を」とあいさつ。来賓として、7月参議院選挙全国比例区で立



▲吉田ただとも勝利へ支援を訴える溝口大分県職労委員長



▲春闘方針・当面する方針などを決めた県職連合第25回・県職労121回臨時大会



▲決意を述べる野中靖志さん

## 野中やすしさん(現自治労本部執行委員長)が決意

### 第121回臨時大会で組織内候補擁立を決定

8月下旬実施の盛岡市議会議員選挙に、県職労組織内候補予定者として、「野中靖志」(55歳・新人・社民党公認予定)の擁立を提起し、代議員から必勝に向けた取り組み強化の発言を受け、満場一致で決定した。決意表明をした野中靖志さんは、「2011年3月

に県職員を退職し、8年間自治労岩手県本部で自治労運動の前進のため、組合員の皆さんの支援を得ながら活動してきた。今後の県職労運動を考えた際、ぜひ、県都盛岡での組織内議員が不可欠と考えており、12年前の「いさわ昌弘」さん以来の盛岡での組織内議員に向け、立候補を決意。現場の声・市民の声を大切に、自治労運動で政治の場を変える決意」と訴えた。県職労は野中靖志さんの当選に向け支持浸透に全力を挙げる。



▲挨拶する及川隆浩さん

2月25日告示・3月4日投票の日程で「及川隆浩」さん(48歳・盛岡支部・経営企画・審査指導監分念)を離職専従役員として、次期自治労県本部書記長に派遣する組合員投票が3月7日に開票され、圧倒的多数で信任された。

## 及川隆浩さん 圧倒的の信任

### 4月・自治労県本部書記長就任へ

その上で、3月9日の自治労県本部第51回臨時大会において書記長の信任を得た。及川さんは3月末をもって県職員を退職し、4月から自治労県本部書記長として、県内各自治労組合員の職場改善に向け、全力を挙げる。県職労も自治労県本部と連携し、改善に向け運動を強化していく。

スキージャンプ・ワールドカップ男子2018~2019シーズンでは、岩手県出身の小林陵侑選手が日本選手初の総合優勝を決めた。ヨーロッパ以外の選手から初めてこの歴史的偉業をライブで見られたことは、喜ばしい限りだ。小林選手の成績は、長野オリンピックで活躍した船木和喜選手(98~99シーズン)の日本男子のシーズン表彰台15度の記録を抜き、16度(3月11日現在)と新記録だ。大会も続いており、更なる活躍に期待したい。女子生徒自殺の原因を探るため、菅田将暉の演じる教師が29名の生徒を人質にしたところから始まった人気ドラマ学園ミステリー「3年A組」。先生が最後の授業で伝えたことは「マインドボイス」SNSの言葉の暴力、不確かな情報で知らない人を傷つける無責任な悪意。若年層が利用するSNS等の問題点を描き手を思いやる気持ちを持つことの大事さとして言葉はナイフよりも凶器になることを伝えた。スポーツ競技では、競技結果だけを評価する人もいますが、競技を続ける環境は大変だ。練習をサポートする体制も認められる社会構造にジャンプしてほしい。

2019春闘・人事課長交渉

一部改善あるも賃金・諸手当課題は継続に

欠員継続も育休代替職員の定数確保引き出す

3月8日、19春闘課題に  
関し、佐藤人事課総括課長  
と交渉を行った。

【人員配置】

採用内定者(前倒し採用  
含む)約170人、任期付  
内定者約40人の見通しを言  
及しつつ、欠員数は昨年4  
月93人からは一定程度解消



▲当局に前進回答を求める交渉団

されることとした。相当数の欠  
員が継続することから、早  
急な人員確保を求めた。

【育休代替職員等の確保】

育休代替職員分の定数を  
追加措置し、正規職員を配  
置すること、新たな定数を  
管理計画において、震災復  
興業務の職員数は所要数を



▲回答する佐藤人事課長

確保するほか、復興業務以  
外では来年度から4年間で  
80~100人程度増員する  
とした。交渉団から各職場  
で恒常的な人員不足となっ  
ており、早期配置を求めた。

【専門職種の処遇改善】

4月からの獣医師・薬剤  
師の初任給引上げの生涯賃  
金の増加額は約250万円  
であること、2016年度  
採用者から、4月1日に在  
職者調整を行うとし、最大  
3号給の調整を行うとした。

職業訓練指導員等の専門職  
種でも処遇が低く確保でき  
ないと訴え、対策を求めた。  
【赴任旅費の改善】  
今回の定期人事異動から、

異動により異なる都道府県  
間で転居する職員について、  
引越費用(梱包・清掃  
等の付帯サービス除く)が  
移転料を上回った場合、人  
事課に協議のうえ、移転料  
の3割を限度として増額調  
整することとした。交渉団から  
人事異動内示が3月15日と  
遅く、負担軽減策や着任期  
間の柔軟対応等を求めた。

【公舎確保】

管財課に対し、異動内示  
前に公舎別の異動予定見込  
み数を提供し、公舎不足が  
見込まれる地区での借上げ  
公舎の確保を進めるとした。

【超勤課題】  
超勤予算額は2月補正後  
でも昨年度を超える予算を  
確保しているとし、3月末  
まで人事管理費の部局間調  
整し、必要予算を配分する  
とした。交渉団から依然と  
して多額の予算不足となっ

ている公所があるとし、実  
態把握と配分を求めた。  
【年次休暇取得促進】  
4月から、9月末時点で  
各所属長が年次休暇の取得  
状況を確認し、各職員に取  
得希望を確認したうえで、  
年5日以上の年次休暇取得  
させる旨通知することとした。

その他、現給保障終了に  
伴う賃金改善、諸手当改善  
は確定闘争と同じ姿勢にと  
どまったことから、早期改  
善を求め、継続課題とした。  
【今後の取り組み】  
一部前進回答も、18確定  
闘争からの継続課題は山積  
のまま。実感できる改善め  
ざし、闘争を継続していく。

独自要求交渉での改善実現を

3・9 税務協議会総会

3月9日、2018税務  
職員協議会総会が開催され  
た。開会で藤原会長から「今  
年度も全税務職員のアンケ  
ートを基にした税務課長へ  
の独自要求書提出・交渉を  
実施し、人材育成、研修体  
制の充実を訴えたほか、昨  
年9月の北海道胆振東部地  
震での災害派遣時の課題検  
証を求めた。特にも昨  
今では病休者も少なくなく、  
そうならないように事前の  
対策が求められる。要求の  
多くが継続課題となったが、  
課長も検証するとの姿勢を

の後、執行部から、新任者  
のバックアップを意識した  
組織体制の構築、業務量の  
増大を踏まえた人員配置、  
研修の充実などを柱とした  
運動方針の提起があり、全  
会一致で採択された。  
さらに、2019年度役  
員体制が確立した。

税務協議会では、組合員  
や職場が抱える課題の共有  
と、職場環境改善をめざし  
取組を強化していく。

【2019税務協役員体制】

会長 鳥屋部圭(胆江)  
副会長 伊藤 貢盛(岡)  
副会長 千葉拓也(一関)  
事務局長 八重樫博(県庁)  
事務局次長 小島 翼(花巻)



▲全国青年団結集会

越えて交流しました。参加  
者から、基本給が低いため  
非番の日に出勤し年休で休  
む方法で稼ぐ一方で、人員  
不足のため嫌でも非番の出  
勤に心しなければならな  
いとの話があり、賃上げと併  
せて労働環境の改善の必要  
性も感じました。

【賃上げだけでなく労働環境の改善も  
胆江支部・岡本拓哉さん、中川理恵さんが参加  
2月9日から10日にか  
けて兵庫県神戸市で開催され  
た「第52回全国青年団結集  
会」に参加しました。

第25回全国青年団結集会 官民・産別の枠を超え交流

分散会のほか、構成詩で  
は業務に追い詰められても  
周囲に言えず、配達できな  
い郵便物を捨てるという方  
法で自己解決を図り逮捕さ  
れた郵便配達員の話や、過  
労死した社員の遺族が自ら  
勤務先に対して労働条件の

4月16日告示・21日投票 / 矢巾町議会議員選挙  
**山崎みちお**  
夢と希望に満ちたまちづくり!  
山崎みちお (70歳)  
無所属 (社民党推薦)

小西和子 県政報告

県議会予算特別委員会で  
県職労課題を取り上げ、当局見解質す。

3月6日、小西和子県議  
(県職労推薦) が登壇し、  
県職労課題を取り上げた。

足状況と一層の確保策は。  
獣医師の処遇改善は。

【専門職種の確保策】  
(小西県議) 専門職種の充  
で、専門職種の欠員は43人、  
総合土木は27人、建築職が  
1人。採用試験受験者の確  
保強化に努める。獣医師処  
遇改善は、初任給引上げで  
人事委員会と協議中。



小西和子県議

【育休代替職員の確保】  
(小西県議) 次期総合計画

【将来の定数配置】  
(小西県議) 次期総合計画

【若年層の離職対策】  
(小西県議) 早期退職の現  
状と対策は。



▲運動方針と新体制を決めた税務協議会

新年号クイズ  
当選者決まる

清温荘宿泊券  
加賀 克昌さん

(水枝センター分会に  
一関支部賞  
(いわて感ビル・シーゼット)  
小岩 敬洋 (宮古支部・岩泉土  
木センター分会)  
松本 文雄 (胆江支部・保健福  
祉環境部分会)  
前川 伸也 (宮古支部・岩泉土  
木センター分会)  
高橋 孝司 (盛岡支部・北上川流  
城下水道事務所)  
小成 晴紀 (県庁支部・森林  
整備課分会)

支部応援賞  
花巻支部賞  
(エーデルワイン2本セット)  
佐々木秀治 (三戸支部・三戸農林振  
興センター分会)  
北上支部賞  
(「きたかみ牛」すき焼き用肉)  
中村 康之 (三戸支部・三戸農林振  
興センター分会)  
胆江支部賞  
(江刺りんご詰め合わせ)  
佐藤 宏幸 (盛岡支部・岩手県  
下水道公社分会)

特別賞 (清温荘宿泊券)  
加賀 克昌 (釜石支部・水産技  
術センター分会)

当選者は次のとおり。  
県職労新年号クイズ応募  
者の抽選会が3月2日開催  
の県職労第121回臨時大  
会で行われた。

【支店環境の改善も  
胆江支部・岡本拓哉さん、中川理恵さんが参加  
2月9日から10日にか  
けて兵庫県神戸市で開催され  
た「第52回全国青年団結集  
会」に参加しました。